

機 関 会 議

2018 年賀詞交歓会を開催 <1月16日 参加者 72名>

新年のご挨拶と、生協への理解を深めていただくこと、相互の連携強化を目的に開催しました。県知事の福田富一様をはじめ、国会議員並びに議員秘書の皆様、県議会議員、自治会連合会、行政、学識者、社会福祉法人、協同組合、NPO 法人等、大勢の皆様にお集まりいただき、和やかに交流が行われました。



福祉部会を開催 <2月8日 第7回>

昨年 4 月に全県で実施し、1 万 2 千人を超える回答があった「暮らしのお役立ちのためのアンケート」について、外部への発信を視野に入れ、内容を精査して資料を作成することとしました。

2017 年度食と農をつなげる会 <12月14日 78名参加>

JA 栃木女性会と生協連会員の地域の役員・職員で、農業、消費者、それぞれの立場を知ることを目的に毎年開催しています。今回はお互いの組織の食育の取り組みについて、事例報告と分散会交流「お互いに知り合い、語り合おう」を行いました。

- ❖食育事例報告①「食育の取り組みについて」よつ葉生協理事長 倉持 まゆみ 氏
②「生産者交流会(那須山麓土の会)」とちぎコープ理事 牧島 久美子 氏
③「食育活動報告について」JA うつのみや女性会会長 本多 幸子 氏
④「地産地消倶楽部の活動」JA はが野女性会副会長 堀澤 綾子 氏



定例理事会 <開催日 2月13日 第5回・4月10日 第6回>

理事会を開催しました。また理事会冒頭で、時々に必要な情報の学習会を実施しました。

2/13・生協の環境目標・SDGs(講師:日生協担当者) 4/10・交通の安全と保障について(講師:全労済栃木)

そ の 他

協同組合交流会を開催 <1月18日 16団体、60名参加>

2012年の国際協同組合年を契機に、年に1度交流会を実施しています。今年度は栃木県の林業の現状を知るため「栃木県森林組合連合会鹿沼木材共販所」を視察し、お話を伺いました。①森林・林業の現状と森林組合系統組織について
②栃木県森林組合連合会鹿沼木材共販所について



食と農を考えるフォーラム <3月5日 消費者等 440名参加>

JAグループ栃木主催、栃木県生協連後援で開催しました。基調講演と地域農業振興の取り組み報告を行い、国内農業や国産農畜産物の消費拡大の重要性について等、参加者に伝えました。

- 講演:「食と農業の今と未来」 ■講師:フリーアナウンサー・農業ジャーナリスト 小谷 あゆみ 氏
■報告:①伝えたい!農業の魅力〜ニラの栽培と青年部活動について〜(JA 栃木青年部連盟) ②新鮮、安全安心でおいしい地元産農産物を販売!(JA しもつけ営農部園芸販売課) ③安全安心なトマト生産をめざして!(鹿沼市トマト生産者)

NPO 法人とちぎ消費者リンク

○学習会を開催 <3月22日>

適格消費者団体の意義等について、啓発のための学習会を開催しました。

- 演題:消費者問題の今日的課題
■講師:NPO 法人とちぎ消費者リンク理事長 弁護士 山口 益弘 氏

○総会記念講演 <4月21日>

- 記念講演:地域に根差した適格消費者団体を目指して
■講師:埼玉消費者被害をなくす会理事長 弁護士 池本 誠司 氏

リンク第3回通常総会報告

4月21日に総会が開催され、第1号議案〜第4号議案までの議案が全て承認されました。

- ・理事長:山口 益弘(弁護士)
・副理事長:竹内 明子(生協連会長)
・副理事長:鈴木 洋平(弁護士)

正会員 106 名、団体正会員 12 団体
個人賛助会員 9 名、団体賛助会員 2 団体

ネ ッ ト ワ ー ク

とちぎ食の安全ネットワーク

食の安全を担保する上で、行政によるリスク分析と、社会的な関係者による連携は欠かせません。食品の安全性確保の社会システムを高めるために、情報発信、県民への啓発、構成団体間での情報交換と啓発を目的として 2003 年に発足しました。
<構成…1 学識者、13 団体(生協連は事務局兼任)、おがザ-バ-として行政等 4 団体>

○世話人会を開催 <2月1日 第6回・4月5日 第7回>

メンバー間での啓発、課題共有のための世話人会学習会を毎回開催しています。講師を世話人の宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏にお願いしました。

- 第6回学習会「もう一度、耐性菌による感染症対策に向けた動向について」
■第7回学習会「食品衛生法改正懇談会の要点」

その他、2018 年度実施する、県や宇都宮市と協働開催の食品安全セミナー、食品安全フォーラムおよび、全体会学習会の内容等、次年度の活動計画について協議しました。

○全体会学習会を開催 <3月15日 参加者60名…ネットワーク参加団体関係者対象>

2018 年 3 月末廃止の「種子法」について学習しました。

- 演題:種子法廃止とこれからの日本の農業について
■講師:元農林水産大臣 弁護士 山田 正彦 氏

「米、麦、大豆」等、国民の糧となる主要農作物の種について、国が責任を持ち、優良な種を安く安定的に農家に供給することを義務付けた「種子法」が廃止されました。種子の価格高騰、品種の多様性がなくなる、遺伝子組み換えを扱うグローバル企業参入等、今後が懸念されています。山田先生は、「種子」は食糧生産の根幹であり、その権利を国(民)が掌中に収めていることは極めて重要、国民の意思表示と議員立法等の対策が必要との認識を示されました。



とちぎ消費者ネットワーク

消費者団体、消費者問題専門家、並びに関係諸機関との連携を図りつつ、消費者への情報提供・啓発、各種消費者行政に関する研究・提言などを行い、消費者の権利の実現に寄与することを目的に生協連が呼びかけ、2004 年に発足しました。
<構成…学識者、弁護士会、司法書士会、商工会議所連合会、商工会連合会、自治会連合会、消費者問題専門家、消費者団体、協同組合等 15 名(生協連は事務局兼任)、おがザ-バ-として栃木県銀行協会>

○幹事会を開催 <2月6日 第5回・3月20日 第6回>

問題共有、課題整理のため、毎回幹事会学習会を行いました。

- 第5回「図表でみる消費者相談の現状」NPO 法人消費生活サポートネット理事長 葛谷 理子 氏
■第6回「最近の消費者トラブルと対処法」消費者ネットワーク代表 山田 英郎 氏

その他、「消費者委員会委員との意見交換会」参加報告、とちぎ消費者リンク報告、参加団体報告交流と、2018 年度の活動計画等について協議しました。

○行政訪問 <県内 7 市を訪問>

昨夏、県内 25 市町に実施し 23 市町から回答を得た「消費者行政アンケート」をもとに、市長や消費生活の担当部署を訪問し、意見交換を行いました。

行政訪問		
2017 年	11/27 矢板市	11/30 佐野市
	12/22 真岡市	
2018 年	1/19 大田原市(市長)	1/31 下野市(市長)
	2/20 那須塩原市	3/5 那須烏山市

○関東ブロック地方消費者フォーラム開催 <2月9日前橋市で開催。生協連は実行委員として参加>

2 月に「適格消費者団体」に認定された「消費者支援群馬ひまわりの会」より、適格消費者団体の制度が導入された意義とその活動等についての報告と、参加団体活動報告および分科会交流を実施しました。

- 基調報告:適格消費者団体の活動・行政や市民との連携を目指して
報 告 者:消費者支援群馬ひまわりの会理事 弁護士 舟木 諒 氏

■各団体の実践報告

- ①前橋市消費生活啓発員の会 ②新潟県県民生活・環境部消費行政課 ③消費者行政充実ネットちば